

柏崎刈羽原子力発電所 放射性気体廃棄物の放出量
(平成21年度第1四半期)

(単位: Bq)

		全希ガス	¹³¹ I	全粒子状物質	³ H	備 考
原子炉施設合計		ND	ND	ND	2.4×10 ¹¹ (2.8×10 ¹¹)	放射性気体廃棄物の放出放射能 (Bq) は、排気中の放射性物質の濃度 (Bq/cm ³) に排気量 (cm ³) を乗じて求めている。 なお、放出放射能濃度が検出下限値未満の場合は ND と表示した。 検出下限値は以下の通り。 全希ガス: 2×10 ⁻² (Bq/cm ³) 以下 ¹³¹ I: 1.1×10 ⁻⁸ (Bq/cm ³) 以下 全粒子状物質: 4.8×10 ⁻⁹ (Bq/cm ³) 以下 (⁶⁰ Co で代表した) ³ H: 4×10 ⁻⁵ (Bq/cm ³) 以下 (全希ガス及び ³ Hについては、測定指針*の測定下限濃度を記載したが、 ¹³¹ I 及び全粒子状物質の検出下限値は、測定指針*の測定下限濃度を上回っているため、検出下限値の最大値を記載した。 ※発電用軽水型原子炉施設における放出放射性物質の測定に関する指針)
排気筒 別内訳	1号機排気筒	ND	ND	ND	3.7×10 ⁹	
	2号機排気筒	ND	ND	ND	2.8×10 ¹⁰	
	3号機排気筒	ND	ND	ND	4.0×10 ¹⁰	
	4号機排気筒	ND	ND	ND	3.0×10 ¹⁰	
	5号機排気筒	ND	ND	ND	2.5×10 ¹⁰	
	6号機排気筒	ND	ND	ND	4.4×10 ¹⁰	
	7号機排気筒	ND	ND	ND	6.7×10 ¹⁰ (1.1×10 ¹¹)	
	その他 排気筒	焼却炉建屋 排気筒 (荒浜側)	異常なし* ¹	ND	ND	
焼却炉建屋 排気筒 (大湊側)		異常なし* ¹	ND	ND	2.0×10 ⁹	
年間放出管理目標値		6.7×10 ¹⁵	2.3×10 ¹¹	—	—	

※1: 通常レベルから変動していないことを確認して「異常なし」としている。

注1 平成21年5月19日から5月25日の間、7号機排気筒で¹³³Iが検出された。これは、復水回収タンク室内に設置されている原子炉給水ポンプシール水戻り配管内の空気を抜くための開口部から、復水回収タンク室へ¹³³Iが拡散したものであることが判明した。7号機排気筒の¹³³Iの放出量については1.5×10⁶ (2.4×10⁶) Bqである。

注2 ()内の数値は、7号機主排気筒放射線モニタサンプリング配管接続部の不具合が見つかったため、測定系への外気の流入量から補正した値である。